

交．総．組 第 1 7 4 号
令和 6 年 7 月 1 2 日

令和6年12月31日まで保存

一般社団法人東京都トラック協会
会 長 水 野 功 様

警 視 庁 交 通 部 長
大 窪 雅 彦



路上寝込みや酩酊者の徘徊等の道路上における危険行為発見時の速やかな
通報及び安全確保の依頼について

貴協会におかれましては、平素から交通安全活動はもとより、警察業務の各般
にわたり、深い御理解と御協力を賜っておりますことに厚く御礼申し上げます。

さて、警視庁では、現在、都内の交通死亡事故が大幅に増加したことを受け、
各種交通安全対策を推進しておりますところ、これから年末にかけて路上寝込
みや酩酊者の徘徊等、飲酒に起因する交通事故が増加する傾向にあります。

特に、路上寝込みに起因する交通事故は、その相手方のほとんどが乗用車で、
非常に死亡率が高い（約3割）という特徴があります。都内においても、令和
元年から令和5年の間に51人が亡くなっており、これは、同期間内の歩行者の
交通事故死亡者数の約2割を占めるもので、警視庁としては、危機感を持って
その抑止対策を進めております。

その一環として、従来から、貴協会の皆様には、これら道路上における危険
行為を発見した際の110番通報や現場における交通事故の危険防止措置など、
当該行為に対する積極的な関与をお願いしておりますところ、本年は、路上
寝込みに起因する事故で、既に4人の方が亡くなっていることを踏まえ、これ以上
犠牲者を出さないためにも、以下の点に御留意いただくとともに、引き続き、
発見時の通報、当事者の安全確保に御協力いただきますよう、今一度、お願い
申し上げます。

【留意点】

- 夜遅くから未明（20時～4時頃）にかけての発生が多く、特に0時から2時が最も多くなります。
- 中速域（40～60km/h）を超えると死亡事故になる可能性が高くなります。
- 路上寝込みに起因する事故の相手方は乗用車が8割以上です。
- ロービームでは、50m先の路上で寝込んでいる人を確認できず、ハイビームでは確認ができます。
- ロービームで走行する場合は、低速で走行することで、より早く路上で寝込んでいる人を発見することができます。
- 直進時、ハイビームで走行すると、ロービーム時より早く路上で寝込んでいる人を発見でき、発見から停止までの距離が短くなります。
- カーブ走行時、ロービームとハイビームの見え方に大きな差はありません。
- 交差点での右左折直後は、いずれも路上で寝込んでいる人に気付くことが困難です。
- 泥酔等による警察での保護件数は、7月、12月に多くなる傾向があり、そのほとんどは、自力で帰宅することが困難で、生命・身体に危険が及ぶおそれがある状態のため、放置すれば、路上寝込みに起因する重大事故が発生する可能性が高くなります。

交通安全情報



警視庁交通部

路上寝込みに注意！

本年に入り 路上寝込みによる死亡事故 **4** 件発生！

本年の路上寝込みによる死亡事故**全て**が、午後8時から午前0時までの**夜間帯**に発生しています！



ドライバーの皆さんへ

見通しが良い道路でも注意しましょう！

路上寝込みを発見したら

110番通報等をしてください。

警察官が現場に到着するまで、現場でハザードランプを点灯させる等の交通事故防止に**ご協力をお願いします！**

※ 特に夜間帯は道路が暗く、運転による疲労により、歩行者等の発見が遅れがちです。昼間よりも**速度を落として**走行するとともに、**ハイビーム等を有効に活用**して危険を予測した運転をしましょう！



交通事故は皆さんの**身近で**発生しています。
一緒にお酒を飲んだ仲間が事故の被害に遭わないよう、タクシーを呼ぶなど、ちょっとした**気遣い**で交通事故を防止しましょう！

